

中原区大戸地区における ワークショップの取組

モデル地区選定から実施まで
そして、その後

中原区役所地域みまもり支援センター

- 1 中原区の概要
- 2 モデル地区の選定
- 3 ワークショップの概要
- 4 ワークショップで出た「やってみたいこと」
- 5 その後の展開

目次

1 中原区の概要

- ① 人口25万人超の子育て世代の流入が続くまち。一方で高齢化も着実に進んでいる。
- ② 武蔵小杉駅周辺のタワーマンション、駅周辺はおしゃれで便利
- ③ 多摩川、等々力緑地、二ヶ領用水、井田山など自然が豊か。少し離れると農地も。
- ④ 転出入も多いが、代々住んでいる方も多い地域もある。
- ⑤ 子育てサロンを始め、地域活動が盛ん
- ⑥ 井田地区は急傾斜地、他地区は比較的平坦

2 モデル地区の選定

中原区

- ① 28年度、区・地区社会福祉協議会と共催のワークショップが実施されており、地域の課題抽出が一定進んでいた。
- ② 29年6月に地区カルテが作成されており、地域分析に基づいた地域マネジメントの取組ができる状況にあった。

大戸地区

- ① 町会長・地区社協会長のリーダーシップ
- ② 地区の特性
 - ボランティア意識の高い住民が多い
 - 人口の転出入が比較的少ない
 - 子育てサロン発祥の地区
- ③ 担当保健師によるこれまでの地区診断、活動方針

3 ワークショップの概要

東京大学
高齢社会総合研究機構
後藤純 特任講師

1日目 (H29.10.31)

- ・ 講演：「人生100年時代を どう生きるか」
- ・ 中原区役所からみた地域の特徴
- ・ 「い・じょく・じゅう」で考える生活上の困りごと
- ・ 自分のために始めたいこと、解決したいこと

参加者約30名

地区社協、町内会、
地域の関連施設、
団体等

2日目 (H29.11.15)

- ・ 前回の振り返り
- ・ 地域の特徴・資源の共有
- ・ 2030年の望ましい自分の姿、
まちの姿
- ・ 参加型SWOT分析

3日目 (H29.11.29)

- ・ 前回の振り返りと本日の検討内容について
- ・ 新しい取組み検討
- ・ 検討結果の全体共有と意気込みの発表
- ・ まとめと今後に向けたアドバイス

4 ワークショップで出た「やってみたいこと」

○サロンの充実

- ・ 朗読会
- ・ 軽食付きサロン（ケータリング、手料理持ち寄り）

○男性の居場所

- ・ グランドゴルフ

○文化系の居場所

- ・ ハンドベル
- ・ ガーデニング
- ・ 絵画
- ・ 和服リフォームとファッションショー
- ・ 近所ガイドツアー

○運動・スポーツ系の居場所

- ・ ハイキング（散歩）サークル

○多世代交流

- ・ 地場野菜料理教室（ピクルス・漬物教室）、漬物カフェ
- ・ 昔遊び体験
- ・ 子どもとパソコン（スマホ）教室 など・・・

6

5 その後の展開 ～区内での実践の動き～

「やりたいこと」アンケートで あがったものを具体化する動きあり

その1
野菜を活用した料理教室

その2
サロンでの朗読会を取り入れた
活動への発展

その3
ウォーキング（散歩）企画の検討

他地区も動き出す

- ・丸子地区で地区社協役員会でワークショップ開催を計画
- ・地域包括支援センターの圏域会議でのワークショップ実施を計画

継続的な自助・互助の取組を支援するため、
アフターフォローを丁寧にしていきます

ご清聴ありがとうございました